

# 市政を問う

## 一般質問

12月定例会における一般質問は、12月3日、4日、5日に行われ、13人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は市議会ホームページで3月1日頃から閲覧いただけます。または半田図書館、亀崎図書館にも設置してありますのでご利用ください。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

### ごみ減量について



自民クラブ  
嶋崎昌弘

減量のための有料化制度内容は正式に決定されたものではなく、計画案の段階です

**問** 令和3年4月からの減量のためのごみ有料化対象品目は何ですか

**答** 燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみを対象とします。

**問** 手数料の徴収方法はどのようにしますか

**答** 指定ゴミ袋の販売価格を手数料にする指定ごみ袋制とします。また、ごみを直接クリーンセンターに搬入する場合は重さに比例した金額をその場で直接徴収します

**問** 指定ごみ袋の種類と価格をお伺いします

**答** 一枚の値段は大50円、中30円、小20円とします

**問** 手数料収入金額と用途をお伺いします

**答** 約2億5千万円で、ゴミ処理と資源化に対する費用及びごみ減量に関する施策の一部として活用していきます

**問** 家庭系ごみ収集方法で、戸別収集について

の考え方、及びモデル事業の実施についてお伺いします

**答** 現在のところ全市民的に戸別収集を導入する考えはありません。また、モデル事業についても実施する予定はありません

**問** 減量のための有料化にともない不法投棄・不適切排出の対策をどのようにしますか

**答** 職員によるごみステーションのパトロールの実施や監視カメラの設置を予定しています

**問** 令和4年4月の知多南部広域環境センター供用開始後のクリーンセンター及び福祉ふれあいプールの計画についてお伺いします

**答** 事務所、埋立最終処分場、資源回収センター、野球場等の施設は継続して使用していきます。焼却処理施設等、稼働が停止する施設は、国・県・市の関連部署と協議のうえ決定していきます。福祉ふれあいプールはクリーンセンター焼却炉からの熱源供給が受けられなくなりますが、都市ガスへの切り替えにより年間約3千2百万円の費用増で継続営業をしていきます



### ごみ問題を問う



無所属  
鈴木健一

市政懇談会で出された意見はどのようなものがありましたか

**答** 「新しいごみ袋はどこで購入できるか」「不法投棄が心配されるがどのような対応を考えているか」といったものがありました

**問** 不法投棄について、パトロールと監視カメラの設置を考えていると回答していますが、何処をパトロールして何処にカメラを設置しますか

**答** ごみステーションを考えています

**問** 不法投棄というものはステーションに捨てられないものも含んでいます。そういう不法投棄に対しての対応はどう考えていますか

**答** 不法投棄禁止の看板を立てたり、私有地においては、所有者と協議して対策を立てていきます

**問** 地域意見交換会での市の見解について矛盾と説明不足との不満の声を聞いています。市はどのように対応していきますか

**答** 内容について矛盾や説明不足があるとは考えておりません

地域意見交換会の中で出た質問に、障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方や生活保護世帯と低所得者世帯への支援はしないかと回答していますが、支援するべきと考えますがどうですか

**答** 毎月の負担額が小さいので問題ないと考えます

**問** これは市民経済部長の考えかと思えます。市長も同じ考えですか

**答** いまのところは同じです。ただ、検討すべきかと考えています

**問** 家庭系ごみ有料化の開始日に市の計画とズレがあるのは何故ですか

**答** この計画はあくまで長期計画で、基本的な方針を定めた計画であるため、その方針を転換しない限りは見直しを要するものではありません

**問** 事業系ごみの減量計画書の提出を求める事が決まりましたが、目標値の設定はありますか

**答** 内容を検討中です

